

1 単元 健康な生活と疾病の予防 エ 感染症の予防 (ア) 感染症の原因とその予防

2 目標

- 健康な生活や疾病の予防について関心をもち、健康な生活を送るための課題をもとめたり、その解決方法を見つけようとしたりする。 (①関心・意欲・態度)
- 健康な生活や疾病の予防について、科学的根拠に基づいて予想したり、整理したりすることができる。 (②思考・判断)
- 健康の保持増進や疾病の予防にかかわる要因を知り、それに対する適切な対策を理解し、知識を身につけることができる。 (③知識・理解)

3 指導に当たって

(1) 生徒の実態 対象 3年A組 39名 9月1日実施

①	あなたは、疾病やその予防方法等に興味・関心を持っていますか。	(はい15名 いいえ24名)
②	①の理由。	
③	最近の社会状況から、知っている病気などについて書いてみよう。	
④	将来の健康についての自分なりの考えを書いてみよう。	
⑤	あなたが知っている感染症の名前を書いてみよう。知っていれば、感染症の内容も書いてみよう。(インフルエンザ、感染性胃腸炎、かぜ、ノロウイルス、結核、ロタウイルス、エイズ、エボラ出血熱、手足口病、等)	

アンケート調査を見ると、生徒は、疾病やその予防方法等に興味・関心を保っている生徒は、少なかった。年齢的に「今の自分は健康で、疾病は関係ないもの、興味がない」というように捉えているようである。

また、最近の社会状況から知っている病気については、メタボリック症候群等の生活習慣病熱中症、新型インフルエンザ、鬱病等の情報は少なからずもっているようである。

将来に対する考えとしては、規則正しい生活を送り、健康に気をつけ、予防方法を身につけておいた方がよいと考えており、将来の自分の身を案ずる様子も読みとることができた。

さらに、知っている感染症に関しては、インフルエンザ、感染性胃腸炎、ノロウイルス、かぜ、エイズをあげているが、詳しい内容についてはあまり把握していないようである。一方、本単元で取り扱うコレラについては、名前すら挙がらない状況であった。従って、社会状況や時代背景などから授業の中で触れる必要がある。

これらの実態を踏まえ、身近な感染症や疾病の予防についての理解を深めさせ、自らの健康の保持増進のために必要な実践力に結びつく正しい知識を身につけさせたい。

そこで本単元では、主体と環境などの疾病の原因、健康の保持増進に必要な条件や健康を損なう原因、喫煙、飲酒・薬物乱用の害とそれに対する適切な対処、感染症の主な原因とその予防、個人や集団の健康と保健・医療機関の利用で構成されている。この学習では、人が健康に生活していくことができるように、疾病全般の原因とその予防の観点から理解を深め、日常生活において、適切な意志決定や行動選択を身につけられるようにする必要がある。

特に、感染症の原因と予防では、感染症の名称や種類などの知識を獲得するだけでなく、その原因や対策、予防方法を自分の生活に照らし合わせて考えることができるようにさせたい。その際、19世紀半ばにロンドンで流行し、感染症対策の典型と考えられるコレラを取り上げ、生徒には病名、病原体を明かさないうまま、感染症に対する可能な対策について思考させたい。併せて、コレラの感染症対策の中心をになった、ジョン・スノーが把握していたと推測される様々な情報や、当時の社会状況などを、コンピュータのプレゼンテーションソフトを効果的に活用し、視覚的に資料を提示することで思考を促したい。

また、県学校教育指導方針、保健体育科努力事項の「4 教えて考えさせる授業展開」の推進から、実践力に結びつく知識の習得とそれらを活用して積極的に考える活動ができるよう、病気X(コレラ)の原因と、その予防についての解決策を探る活動について、課題提示を工夫し、グループによる話し合いを活発にさせたい。

さらに、身近であるインフルエンザを取り上げ、日頃行っている、うがい手洗いなどの様々な対策が、感染症の要因や感染の段階に応じたものであることを理解させたい。

4 指導計画 (4時間扱い)

時数	項目	指導内容	関	思	知
① ② (本時)	感染症の原因とその予防	○ 感染症とその原因について理解する。 ・病原体には、細菌やウイルスなどがある。	○	○	○
		○ 感染症の予防について理解する。 ・感染症の発病には、病原体の他、自然環境、社会環境、主体などの条件が関係する。			
3	エイズ及び性感染症の予防	○ 性感染症について理解する。 ・身近な問題として捉え、予防方法を身につける。	○	○	○
4		○ エイズとHIVについて理解する。 ・エイズは潜伏期間が長く発病すると死亡率が高い。 ・HIVは、性行為による感染、血液を介しての感染、母子感染の三つがある。	○	○	○

5 本時の指導

(1) 目標

- 感染症の原因や予防について、自分の経験や仲間との意見交換をもとに、考えたり調べたりしようとする。(①関心・意欲・態度)

(2) 本時における評価規準

評価場面(方法)	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)
・ワークシートに自分の考えをまとめ、グループで意見交換している場面 (ワークシート・観察)	・感染症の原因と予防について自分の経験や仲間との意見交換をもとに、考えをまとめようとする。	・感染症の原因と予防について自分の経験の発表や、仲間との意見交換をすることができる。

(3) 準備・資料

- ・教科書 ・社会状況確認シート ・病気X蔓延分布図 ・ワークシート ・パソコン
- ・プロジェクター ・スクリーン

(4) 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ・評価
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">謎の病気Xの正体は? ～原因と対策を考え、ロンドン市民を病気Xから救いたそう～</p> </div> <p>2 当時の時代背景を知り、病気Xが広がっていった様子を知る。</p> <p>3 病気Xの原因を考える。</p> <p>(1)個人で原因を考えワークシートに記入する。</p> <p>(2)グループで原因を話し合いワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>----- 予想される生徒の反応 -----</p> <p>ア 原因が予想できない</p> <p>イ 友達の意見などを聞き、予想を書くことができる。</p> <p>ウ 自分で水、井戸の水、細菌(O-157, 赤痢など)、糞便など意見をどんどん出せる。</p> </div> <p>4 スノーがとった対策をグループで考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>----- 予想される生徒の反応 -----</p> <p>ア 原因が予想できない</p> <p>イ 友達の意見などを聞き、予想を書くことができる。</p> <p>ウ 食糧の供給停止、井戸水の供給停止、細菌等の対策が考えられる。</p> </div> <p>5 感染症の予防や方法について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 感染症は、病原体が主な要因となって発生する。</p> <p>2 感染症の多くは、</p> <p style="margin-left: 20px;">①発生源をなくすこと</p> <p style="margin-left: 20px;">②感染経路を遮断すること</p> <p style="margin-left: 20px;">③主体の抵抗力を高めること</p> <p style="text-align: right;">によって予防できる。</p> </div> <p>※ スノーが考えた内容の重要なポイントは、「感染経路対策」であったこと。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>・口蹄疫問題や、BSE問題について触れ、原因が分かっても大きな社会問題に発展することを告げ、学習への意欲付けを図る。</p> <p>・これまでも歴史上、様々な感染症が発生し、それに立ち向かってきた人々がいることを知らせる。</p> <p>・当時のロンドンの様子(産業革命後の都市への人口集中、悲惨な労働環境など)、病気Xの広がりをプレゼンテーションソフトを使用し示し、意欲を高めるようにする。</p> <p>・この病気に立ち向かっていった医師J. スノーがいたことを知らせる。また、J. スノーがある対策をとったことで、1週間という短期間で病気の広がりを食い止めたことを伝える。</p> <p>・病気の状況や症状、当時の状況などを、じっくり見るよう指示する。</p> <p>・救世主になったつもりで、個人でじっくり原因を考える作業を行い、真剣に病気Xに対峙させるようにする。</p> <p>・1週間という短期間にとれる対策であることに注目させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">個に対する主な支援</p> <p>・アの生徒には、キーワード「水」を与え意見を導き出せるようにする。</p> <p>・イの生徒には、話し合いの中で出た意見を、できる限り記入し自分の考えとして理解するよう助言する。</p> <p>・ウの生徒には、話し合いの中心となって、自分の意見を説明できるようにさせる。</p> </div> <p>(評) 感染症の原因や予防について、自分の経験や仲間との意見交換をもとに、考えたり調べたりできたか。(ワークシート・観察)</p> <p>・スノーが考えた内容、そして実際にとった行動について説明する。</p> <p>・飲み水や井戸水の供給を停止するために、井戸のポンプのハンドルを取り外したことを伝える。</p> <p>・病気Xはコレラであることを知らせる。</p> <p>・コレラを例にして、感染症のうつり方、すなわち、病原体、感染経路、(水、食べ物、接触等)、発症(潜伏期間、感染力、症状)について説明する。</p> <p>・本時のまとめと次時の確認をする。</p>